

マーケットの動き（2022年5月16日～5月20日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいとなりました。週の前半は、米国の金利上昇に追随する形で金利が上昇しました。週の後半は、米国の景気後退に対する懸念の高まりから金利低下に転じ、前週末とほぼ同水準で週を終えました。

クレジット市場は、投資家のリスク回避的姿勢が継続する中、需要の弱い状況が継続しました。

投資環境見通し（2022年5月）

国内長期金利はレンジ内での動き

国内長期金利は、海外長期金利の動向に加えて、将来の日銀の金融政策変更に対する思惑などから、変動率が高まる可能性があります。しかし、日銀は「連続指値オペ」に関して毎営業日実施することを決定し、改めて金融緩和姿勢を強く示しており、長期金利は当面はレンジ内での動きになるとみています。

	5月20日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.23	▲0.01	▲0.01	0.16	0.16
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	379.87	0.07%	0.15%	▲1.88%	▲1.73%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

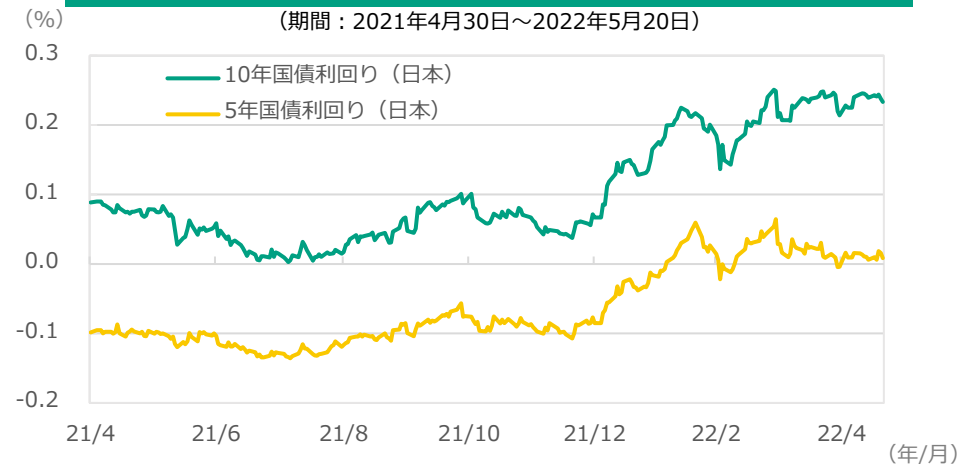
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202205_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2021年4月30日～2022年5月20日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2021年4月30日～2022年5月20日）



※2021年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成